

2020年度事業報告及び決算報告

1. 2020年度事業概況について

2020年度は法人設立19年目の年になります。新型コロナウイルス感染対策に最重点で取り組んだ一年でしたが、法人運営では改正社会福祉法に基づく運営を実施するとともに、以下のような法人及び施設運営の取組を行いました。

- ①2020年4月から新型コロナウイルス感染対策本部を中心に感染予防BCPの徹底と定期的PCR検査等により施設内感染の発生防止に取り組んでいます。
- ②2009年に設定した中期経営計画「2020年のにじの会のあり方」の実施状況と達成差異を明確にし、次の中期経営計画策定の基礎とするため、経営会議で総括案を作成し、5月に理事会で承認しました。
- ③2020年度東京都福祉サービス第三者評価を大沢にじの里・にじアート・未来工房にじ・ワークショップハーモニーの4事業所について実施しました。
- ④利用者の高齢化に対処するため認知症を含む心身機能の低下防止に重点的に取り組むとともに介護保険サービス等への移行に向けた介護保険施設とのパイプ構築に努力しました。
- ⑤地域貢献事業として実施している買い物送迎支援事業は、緊急事態宣言発令後に一時中止し、代わりに買い物代行支援を開始しました。2020年9月からは安全を確保した方法で買い物送迎支援事業を再開し買い物代行支援と合わせて実施しました。

2. 2020年度の決算について

にじの会の2020年度決算の概況は以下の通りです。

- ①事業活動収支は、通常の運営状況を示す経常増減差額が21百万円の黒字で昨年より12百万円減少しています。コロナの影響による短期入所収入減7百万円、就労損益減5百万円、PCR検査費用6百万円等で18百万円黒字が減り、職員業績賞与が6百万円減少したことにより12百万円の黒字減となりました。
- ②資金収支は、通常運営の収支を示す事業活動資金収支が58百万円の黒字で、9百万円の設備投資と7百万円のアート償還金による施設整備等資金収支の赤字16百万円を控除し、42百万円の当期資金収支黒字となっています。
- ③2020年度末の財政状態は、総資産22億55百万円・負債2億11百万円・純資産20億44百万円で、昨年より6百万円純資産が増加しています。